

様式1

平成28年度観光振興部予算見積総括表

一般会計

平成28年度予算見積額	2,090,250 千円
平成27年度当初予算額	1,670,227 千円
差引増減額	420,023 千円
対前年度比率	125.1 %

(注1)上記には、人件費を含まない。

(注2)平成27年度当初予算額は、地方創生による前倒し分を含む。

平成28年度 観光振興部 施策体系表

435万人観光の早期実現に向けて

(単位：千円)

細目事業名	H27当初 予算額	H28当初 予算額	増減 (H28 - H27)	新規・拡充・廃止・組替事業等	担当課名
1. 戦略的な観光地づくり	471,353	574,496	103,143		
地域観光推進事業費	408,456	452,361	43,905	・観光拠点整備事業費補助金 215,462千円 (+29,462)【拡充】 新たに、「土佐の観光創生塾」を通じた地域観光クラスターづくりを支援 ・地域観光商品造成等委託料 52,000千円 (+21,000)【拡充】 「土佐の観光創生塾」開催地域の拡大及び地域コーディネーターの増員等 ・広域観光推進事業費補助金 165,000千円 (+10,000)【拡充】 広域観光組織への支援強化	地域観光課
足摺海洋館管理運営費	62,897	122,135	59,238	・足摺海洋館基本設計委託料 63,754千円 (皆増)【新規】	地域観光課
2. 効果的なセールス&プロモーション	578,861	685,415	106,554		
観光振興推進事業費 うち観光振興推進事業費補助金[国際観光振興誘致事業]及び[観光客受入事業(コンベンション等誘致事業以外)]を除く	578,861	685,415	106,554	・博覧会推進事業費 17,589千円 (皆増)【新規】 幕末維新博覧会(仮称)の基本計画策定等 ・首都圏等観光情報発信事業 10,199千円 (+3,108)【拡充】 海外メディアへの情報発信の強化 ・観光振興推進事業費補助金 [観光客誘致事業]99,918千円 (+17,950)【拡充】 旅行商品造成への助成の強化 [プロモーション事業]137,471千円 (+23,034)【拡充】 第3回「食の総選挙」の実施及び近隣県での情報発信の強化 [スポーツ誘致事業]137,023千円 (+22,862)【拡充】 アマススポーツ合宿への助成拡充、自然を活かしたスポーツイベントへの支援等 [コンベンション等誘致事業]40,322千円 (+18,756)【拡充】 企業ミーティングや研修、団体総会や学会等の開催支援	観光政策課
3. OMOTENASHI (おもてなし) の推進	435,811	534,384	98,573		
おもてなし推進調整費	12,126	14,181	2,055		おもてなし課
おもてなし活動推進事業費	4,679	4,999	320		おもてなし課
おもてなし基盤整備事業費	50,634	84,787	34,153	・国際観光受入環境整備事業費補助金 40,000千円 (+6,000)【拡充】 「i」案内所の開設支援等 ・客船受入等業務委託料 14,518千円 (皆増)【新規】 クルーズ客船の受入体制の充実 ・多言語広域案内板制作委託料 7,032千円 (皆増)【新規】 多言語広域観光案内板の制作 ・津波避難誘導案内板等設置工事請負費 9,180千円 (皆増)【新規】 多言語津波避難誘導案内板等の設置 ・多言語通訳コールセンター運営業務委託料 2,394千円 (皆増)【新規】 外国人観光客に対応できる多言語通訳コールセンターの設置	おもてなし課
観光振興推進事業費 うち観光振興推進事業費補助金[観光客受入事業(コンベンション等誘致事業を除く)]	368,372	430,417	62,045	・観光振興推進事業費補助金 [観光客受入事業] 430,417千円 (+62,045)【拡充】 多言語メニューの普及啓発やこち旅広場の充実等	観光政策課
4. 国際観光の推進	184,202	295,955	111,753		
観光振興推進事業費 うち国際観光推進事業費及び観光振興推進事業費補助金[国際観光振興誘致事業]	117,976	229,262	111,286	・国際観光推進事業費 10,037千円 (+2,880)【拡充】 県内観光事業者の海外商談会への参加を支援 ・観光振興推進事業費補助金 [国際観光振興誘致事業] 182,863千円 (+87,313)【拡充】 外国人観光客向け鉄板商品の造成とクロスメディアによる情報発信の強化 ・東京オリ・パラに向けたプロモーション事業 21,220千円 (皆増)【新規】 よさこいを戦略的に活用したプロモーションの強化	観光政策課
観光振興企画調整費	66,226	66,693	467		観光政策課
5. 事業者の強化と観光人材の育成[再掲]	479,361	524,776	45,415		
地域観光推進事業費	408,456	452,361	43,905	・地域観光商品造成等委託料 52,000千円 ・観光拠点整備事業費補助金 [地域観光クラスター化支援事業] 5,000千円 ・広域観光推進事業費補助金 165,000千円	地域観光課
観光振興推進事業費	66,226	66,693	467	・観光みらい会議 1,317千円	観光政策課
おもてなし活動推進事業費	4,679	5,722	1,043	・観光ガイド育成事業費 2,007千円	おもてなし課
部 合 計	1,670,227	2,090,250	420,023		

※H27当初予算額は、地方創生による前倒し分を含む

H27 〈見直し(廃止)事業〉

◆観光振興推進事業費

高知家着地型旅行商品造成等事業費補助金
(観光政策課)

- ・見直し額：(一) 21,114千円
- ・事業概要：個人旅行客などをターゲットにウェブサイトを活用した新しい切り口の旅行商品を開発することで本県への旅のバリエーションを増やし、観光客の層の拡大を図る。
- ・見直し理由：サイト開設時に行ったイベント等について、認知度向上の成果につながったことから見直しし、来年度は地域観光クラスターとの連動を視野に入れ、当事業を活用し、体験型観光のプラットフォームを構築していくこととしたため。

◆地域観光推進事業費

観光商品ブランド化支援事業 (地域観光課)

- ・見直し額：(一) 12,831千円
- ・事業概要：売れる旅行商品づくりに向けて、専門家による磨き上げや販売方法等への個別アドバイスを実施
- ・見直し理由：旅行商品造成責任者(観光商品ブランド化アドバイザー)による商品販売支援等については、観光創生塾を通じて地域の観光事業者のハンズオン支援を行う地域コーディネーターが担うこととして事業を組み替え、旅行商品の造成販売をはじめ観光事業者の規模拡大や地域観光クラスター化を加速化させる。

見直し

H28 〈課題解決先進枠等〉

新：新規事業

拡：拡充事業

先：課題解決先進枠

1. 戦略的な観光地づくり、人材の育成

◆地域観光推進事業費

先 地域観光商品造成等委託料 (地域観光課)

拡 予算見積額：(一) 52,000千円

- ・事業概要：地域コーディネーターによるハンズオン支援や「土佐の観光創生塾」の開催を通じて、地域の事業者と広域観光組織等が一体となって地域の観光資源を磨き上げ、旅行商品の販売につなげる仕組みを強化し、地域地域の地域観光クラスター化を推進
- ・解決すべき課題：広域観光組織職員のスキルアップ及び観光事業者の商品造成力と事業者間連携の強化
- ・見込まれる成果：地域地域における自律的・持続的な観光地域づくり
 - ・地域の観光事業者の裾野を広げる
 - ・常に新しい商品を作り(進化し)続ける
 - ・旅行商品を結び周遊の仕組みを作る
 - ・地域地域の地域観光クラスター化を進める

戦略の柱1 戦略的な観光地づくり

【方向性】歴史、食、自然を一体的に連動させた戦略的な観光地づくりの推進

取組方針

- (1)歴史資源の徹底した磨き上げ(リアル化)と、歴史文化や食、自然などを一体的に連動させた観光地づくり(クラスター化)
- (2)本県の豊かな自然を活かしたアウトドア拠点の整備
- (3)官民の一層の連携による広域観光組織の体制及び機能の強化
- (4)周遊の促進

平成28年度の主な事業

●観光拠点等整備事業費補助金	215,462千円	拡
●地域観光商品等造成委託料	52,000千円	拡
●広域観光推進事業費補助金	165,000千円	拡
●足摺海洋館施設整備費	63,754千円	新

戦略の柱2 効果的なセールス&プロモーション

【方向性】幕末維新博覧会(仮称)の開催を通じたプロモーションとセールス活動の強化

取組方針

- (5)効果的な広報・セールス活動の展開
- (6)自然環境を活かしたスポーツツーリズムの推進
- (7)コンベンション等(MICE)の誘致活動の強化

平成28年度の主な事業

●博覧会推進事業費	17,589千円	新
●首都圏等観光発信事業	10,199千円	拡
●観光振興推進事業費補助金		
[観光客誘致事業]	99,918千円	拡
[プロモーション事業]	137,141千円	拡
[スポーツ誘致事業]	137,023千円	拡
[コンベンション等(MICE)誘致事業]	40,322千円	拡

戦略の柱3 OMOTENASHI (おもてなし)の推進

【方向性】外国人観光客にも対応した受入基盤の抜本的整備

取組方針

- (8)国内外からの観光客の満足度をさらに高めるための受入環境整備

平成28年度の主な事業

●国際観光受入環境整備事業費補助金	40,000千円	拡
●客船受入等業務委託料	14,518千円	新
●多言語広域観光案内板制作委託料	7,032千円	新
●津波避難誘導案内板等設置工事請負費	9,180千円	新
●多言語通訳コールセンター運営業務委託料	2,394千円	新
●観光振興推進事業費補助金		
[観光客受入事業]	430,417千円	拡

戦略の柱4 国際観光の推進

【方向性】外国人観光客のニーズに対応した商品づくりと高知県の認知を飛躍的に向上させるプロモーションの展開

取組方針

- (9)外国人観光客向け旅行商品づくりの抜本強化
- (10)四国4県が連携した広域国際観光の推進
- (11)2020年東京オリ・パラに向けた「よさこい」の戦略的な活用

平成28年度の主な事業

●国際観光振興推進事業費	10,037千円	拡
●観光振興推進事業費補助金		
[国際観光振興誘致事業]	182,863千円	拡
●東京オリ・パラに向けたプロモーション事業	21,220千円	新

全体を下支え

戦略の柱5 事業体の強化と観光人材の育成

【方向性】観光産業を支える人材の育成と事業体の強化

取組方針

- (12)観光産業を支える事業体の強化や人材の育成と商品造成功率の向上

平成28年度の主な事業 (再掲)

●地域観光商品造成等委託料	52,000千円
●観光拠点等整備事業費補助金 (うち観光創生塾事業者支援事業)	5,000千円
●広域観光推進事業費補助金	165,000千円
●観光みらい会議	1,317千円
●観光ガイド育成事業費	2,007千円

戦略の柱1 戦略的な観光地づくり

- ①歴史と食を一体的に連動させた戦略的な観光地づくり
- ②本県の豊かな自然を活かしたアウトドア拠点の整備
- ③官民の一層の連携による広域観光組織の体制及び機能の強化
- ④周遊の促進

(1) 観光拠点等整備事業費補助金 215,462千円 **拡充**
〔H27予算:186,000千円〕

・観光拠点整備事業等

全国からの誘客につながる観光拠点の整備や観光資源の発掘・磨き上げ等の取組を総合的に支援する。



・地域観光クラスター化支援事業 **NEW**

「土佐の観光創生塾」の受講生による同業種が連携した規模拡大や、異業種が連携した地域観光クラスター化などを支援する。

(2) 地域観光商品造成等委託料 52,000千円 **拡充**
〔H27予算:31,000千円〕

地域コーディネーターによるハンズオン支援や観光創生塾の開催を通じ、地域の事業者と広域観光組織等が一体となって地域の観光資源を磨き上げ、旅行商品の販売につなげる仕組みを強化し、地域地域の地域観光クラスター化を推進する。



(3) 広域観光推進事業費補助金 165,000千円 **拡充**
〔H26.2月補正予算(前倒し):155,000千円〕

マーケティング調査等に基づく戦略的な観光地づくりを進めるため、広域観光組織が行う周遊化の促進や旅行商品づくり、セールス活動などを総合的に支援する。また、地域が主体となった「2016奥四万十博」の開催等を支援する。



(4) 足摺海洋館施設整備費 63,754千円 **NEW**
平成27年度に策定した基本計画に基づき、基本設計等を行う。



戦略の柱2 効果的なセールス&プロモーション

- ⑤効果的な広報・セールス活動の展開
- ⑥自然環境を活かしたスポーツツーリズムの推進
- ⑦MICEの誘致活動の強化

(1) 博覧会推進事業費 17,589千円 **NEW**
県外入込客数435万人の早期実現をめざし、高知城歴史博物館のオープンに合わせた博覧会の開催に向けて、博覧会実施計画等を策定する。



(2) 首都圏等観光情報発信事業 10,199千円 **拡充**
〔H27予算:7,091千円〕

テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアで取り上げてもらうパブリシティ活動を進め、国内外における本県観光の認知度拡大と誘客促進に取り組む。



(3) 観光振興推進事業費補助金

(公財) 高知県観光コンベンション協会が実施する次の事業等に対して補助する。

拡充

【観光客誘致事業(国内)】 99,918千円 [H27予算:81,968千円]

県外旅行エージェント等に対して誘客促進を図る。H28はセールスキャラバンを拡充し、誘致拡大を図る。

拡充

【プロモーション事業】 137,471千円 [H27予算:114,437千円]

メディア等を活用した観光情報の発信、フィルムコミッション活動、「リョーマの休日」キャンペーンの取組等を行う。また、H28は第3回「食の総選挙」を実施し、高知の「食」のプロモーションを強化する。



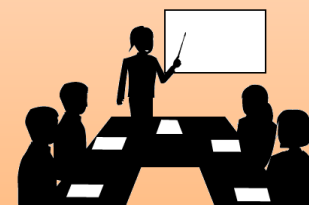
【スポーツ誘致事業】 137,023千円 [H27予算:114,161千円]

プロスポーツキャンプやスポーツ大会、アマチュアスポーツの合宿への助成を拡充するとともに、自然を活かしたスポーツイベントの開催に係る支援等を行う。

拡充

【コンベンション等誘致事業】 40,322千円 [H27予算:21,566千円]

企業ミーティングや研修、団体総会、学会等の誘致を強化する。



戦略の柱3 OMOTENASHI (おもてなし) の推進

⑧国内外からの観光客の満足度をさらに高めるための受入環境整備

(1) 国際観光受入環境整備事業費補助金 40,000千円 **拡充**

[H26.2月補正予算(前倒し):34,000千円]

市町村等が実施するWi-Fi環境や洋式トイレの整備、パンフレットの多言語化への支援とともに、新たに外国人観光案内所の開設を支援する。

(2) 客船受入等業務委託料 14,518千円 **NEW**

高知市中心市街地でクルーズ客船乗客の受入態勢の充実を図り、満足度を高めるとともに、クルーズ客船のさらなる誘致と寄港の定着化につなげる。

(3) 多言語広域観光案内板制作委託料 7,032千円 **NEW**

広域観光周遊ルートを紹介する多言語の観光案内板を制作し、外国人観光客の利便性を高める。



(4) 津波避難誘導案内板等設置工事請負費 9,180千円 **NEW**

主要な観光地において、避難場所を多言語で表示した誘導案内板等を設置する

(5) 多言語通訳コールセンター運營業務委託料 2,394千円 **NEW**

「i」案内所や龍馬パスポート参画施設、市町村観光協会等が外国人観光客の接客時に利用することができる24時間対応の多言語通訳コールセンターを設置する。

(6) 観光振興推進事業費補助金

(公財) 高知県観光コンベンション協会が実施する次の事業等に対して補助する。

【観光客受入事業】 430,417千円 [H27予算:368,372千円] **拡充**

おもてなしタクシーの取組やMY遊バスの運行、こうち旅広場の運営、龍馬パスポート事業等の取組に加え、飲食店のメニューの多言語化を促進するなど、観光客の利便性向上や周遊促進を図る。



戦略の柱4 国際観光の推進

⑨外国人向け旅行商品づくりの抜本強化
⑩四国4県が連携した広域国際観光の推進

⑪2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「よさこい」
の戦略的な活用

(1) 国際観光推進事業費 10,037千円 **拡充**

〔H27予算:7,157千円〕

本県への外国人観光客の誘致促進を図るため、台湾や香港などの海外拠点と連携した誘致活動、四国4県が連携した誘致活動などを展開する。

(2) 観光振興推進事業費補助金

(公財) 高知県観光コンベンション協会が実施する次の事業等に対して補助する。

〔国際観光振興誘致事業〕 182,863千円 **拡充**

〔H26.2月補正予算(前倒し):95,550千円〕

外国人観光客の嗜好やニーズに応じた国別の旅行商品づくりに取り組むとともに、外国人向け観光情報サイトでの情報発信、国内外の旅行博でのセールス活動などを行い、海外での認知度の向上と外国人観光客の誘客を促進する。



(3) 四国ツーリズム創造機構負担金 35,000千円

〔H27予算:35,000千円〕

四国4県とJR四国などで組織する四国ツーリズム創造機構において、四国広域観光周遊ルートづくりやビジットジャパン地域連携事業を展開する。

(4) 東京オリ・パラに向けたプロモーション事業 21,220千円 **NEW**

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、「よさこい」の本場である本県を世界に向けてPRする。

戦略の柱5 事業体の強化と観光人材の育成

⑫観光産業を支える事業体の強化や人材の育成と商品造能力の向上

(1) 地域観光商品造成等委託料 【再掲】

旅行業の専門家等のコーディネーターを県内3ブロックに配置するとともに、事業者向けの講座を開講し、観光資源の磨き上げや旅行商品を造成していくための仕組みづくりと観光人材の育成を図る。



(2) 観光みらい会議の開催 1,317千円 【再掲】

〔H27予算:1,012千円〕

高知県内の観光関係者を対象に、マーケットの動向や旅行トレンド等を学ぶ講演会を開催する。

(3) 観光ガイド育成事業費 2,007千円 【再掲】

〔H27予算:2,118千円〕

高知県を訪れる観光客の満足度向上のため、県内各地域で観光ガイド団体の連携とガイド技術の向上のための研修会等を開催する。

<平成28年度> 効果的なセールス&プロモーション

平成28年度の取り組み

●幕末維新博覧会（仮称）の開催（平成29年3月～）

明治維新150年に当たる平成30年を大きなチャンスと捉え、歴史を中心としたキャンペーンや博覧会を開催するとともに、博覧会の開催を通じて、地域地域における受入態勢や受入基盤、情報発信等の強化を行い、本県観光のさらなる振興を図る。

●コンベンション等（MICE）の誘致活動の強化

多くの集客が期待される学会や各種大会等のさらなる誘致を図るため、企業、大学等へのセールス活動の強化や国際ミーティングエキスポへの出展などに取り組む。

●高知県の自然を活かしたスポーツツーリズムの推進

自然環境を活かしたスポーツツーリズムを推進するため、スポーツ大会の新規開催支援と併せてサイクリングコースの整備などサイクリング観光の推進に取り組む。
アマチュアスポーツの合宿・大会誘致の強化と、ラグビーワールドカップ2019の事前合宿誘致に向けて取り組みを本格化させる。

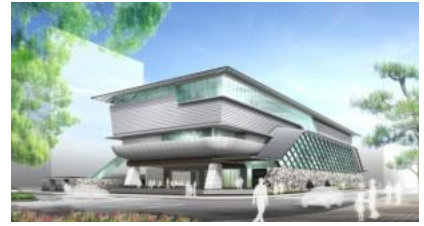
キャンペーンの継続及び博覧会の開催

「リョーマの休日」キャンペーンの継続

- より歴史色を打ち出したキャンペーンに一部リニューアルし、博覧会へのスムーズな接続を図るプロモーションを展開する。

博覧会の開催

- 幕末維新博覧会（仮称）第一幕を開幕する。



博覧会開催に向けたスケジュール（予定）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
トピック	龍馬生誕180年	薩長同盟150年	大政奉還150年	明治維新150年
取り組み		リョーマの休日キャンペーン ~H29.2 実施計画等策定 歴史資源の磨き上げ、歴史観光クラスターの整備	博覧会第一幕 H29.3~H29.12 予定 プロモーション展開（「リョーマの休日」から博覧会へ）	博覧会第二幕 H30.1~12 予定 サテライト会場

コンベンション等（MICE）の誘致活動の強化

★県の協定締結企業や観光特使など誘致先となり得る相手方とのネットワークを最大限に活用し、企業研修や企業ミーティング、団体総会、学会等の誘致を進める。

1) セールスの強化

- ・協定締結企業、病院、大会・学会の運営本部や県内事務局となる大学等へのセールス
- ・国際ミーティングエキスポ等への出展

2) 高知流MICEの検討・提案

- ・高知の強みを活かした魅力的なツアーの提案
- ・ユニークベニュー（高知ならではの会議スポット）の調整・提案
- ・大会開催等にかかる主催団体の準備・運営のサポート

3) 体制の強化

4) インセンティブの充実

- ・助成金の限度額の見直しや新たなメニューの追加



MICE（マイス）とは

Meeting（ミーティング）、Incentive（インセンティブ）、Convention（コンベンション）、Event（イベント）/Exhibition（エキシビジョン）の頭文字を並べたものであり、企業ミーティング、報奨旅行、国内・国際会議、イベント、展示会を指す

スポーツツーリズムの推進

自然を活かしたスポーツツーリズムの推進

- 自然環境を活かしたトライアスロン、マラソンなどのスポーツイベントの開催促進
 - ・スポーツイベントの開催をサポートし、大会開催を促進（助成制度の創設）
- 関係機関と連携したサイクリング観光の取組の強化
 - ・サイクリングコースのPR（HPの制作、コースマップの作成・配布など）
 - ・休憩所や距離標等の整備とブルーラインなどの整備計画の策定



強みを活かしたプロキャンプ及びアマスポーツ合宿・大会誘致等の推進

- プロ野球やJリーグのキャンプ誘致、プロゴルフ大会への支援
- アマチュアスポーツ合宿助成金の拡充
- 合宿誘致の新たなターゲットの開拓
 - ・シルバー世代の大会や障害者スポーツの合宿

ラグビーワールドカップ2019日本大会等に向けた取組

- ラグビーワールドカップ2019の事前合宿等の誘致
- なでしこリーグやラグビーなどトップリーグの公式戦の誘致



<平成28年度> 地域地域の戦略的な観光地づくりの総合的な支援

【28年度の主な取組】

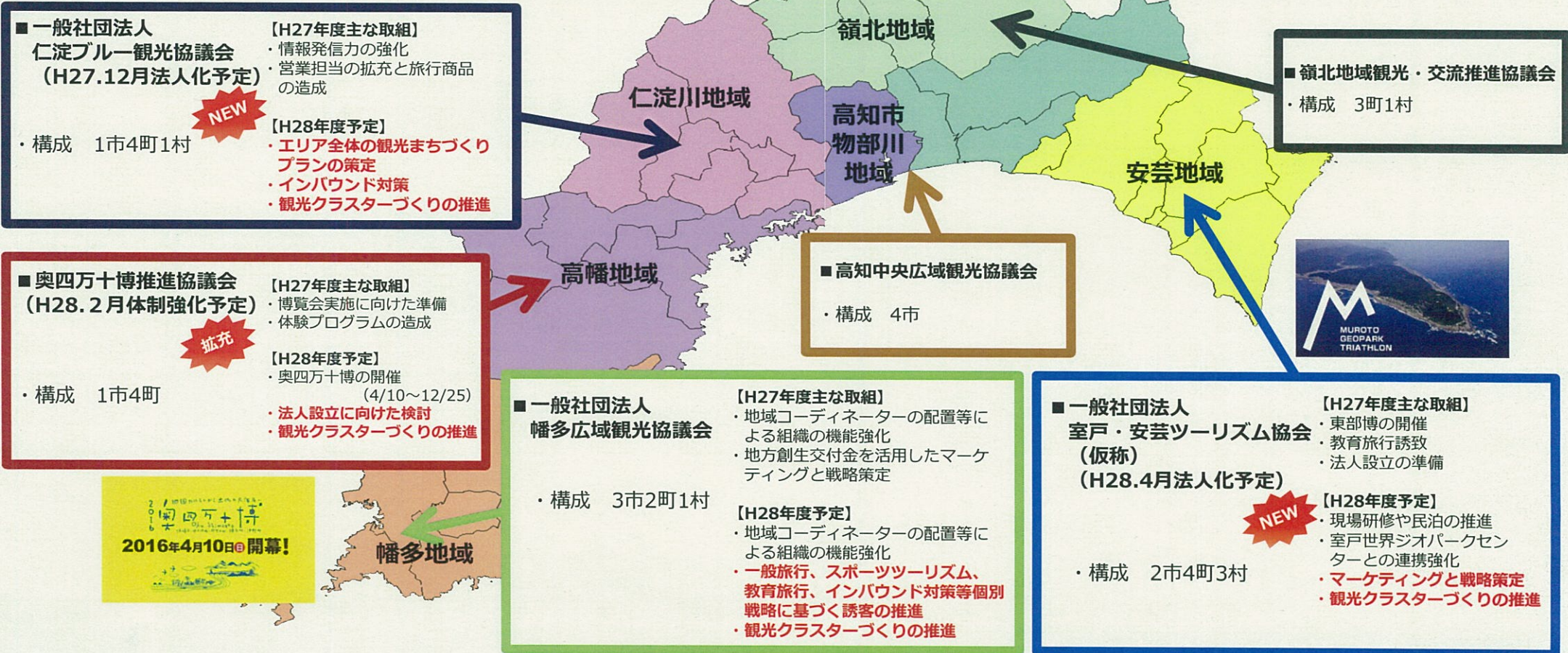
- 観光拠点等整備事業費補助金
 - 全国からの誘客につながる観光拠点の整備、観光資源の発掘・磨き上げに加えて、**観光クラスター化**への取組を支援
- 地域観光商品造成等事業

地域の事業者と広域観光組織等が一体となって地域の観光資源を磨き上げ、旅行商品の販売につなげる仕組みをより強化し、地域地域の地域観光クラスター化を推進

 - 地域コーディネーター配置の増（西部、中央部に加えて**東部にも配置**）
 - 観光創生塾の開催地の増（西部、中央部に加えて**東部も開催**）
 - 観光創生塾のカリキュラムの拡充（基礎講座に加えて**専門講座、現地GWを追加**）
 - 新たな専門講座、現地GWにより塾生間の連携を促し**地域観光クラスター化を加速化**
- 広域観光推進事業費補助金
 - 広域観光組織の定める中長期計画等を踏まえ、ステージに応じた事業展開を支援

【広域観光組織が担うべき機能】

- 企画統括機能
 - マーケティング調査、観光まちづくりの戦略立案
 - 県や市町村等との連携、観光クラスターづくりの推進
- 情報発信機能／パンフ作成、HP・メルマガ、セールス活動等
- 旅行取扱機能／総合窓口、着地型商品造成・販売等
- 観光人材育成／観光事業者、ガイド・インストラクター養成等
- 観光産業化
 - 商品開発、地域内製品の販売（インバウンド含む）



＜平成28年度＞ 国際観光のさらなる強化

つくる 外国人旅行者向け「鉄板」観光商品づくり

売る 国内外マスメディア等を活用した情報発信の強化

【事業の目的及び概要】
外国人観光客の本県へのさらなる誘客のため、市場のニーズ（嗜好等）に応じ、高知の魅力を感じることができる「鉄板」観光資源で構成された、各市場毎の「周遊ルート」と「旅行商品」の造成・販売を行う

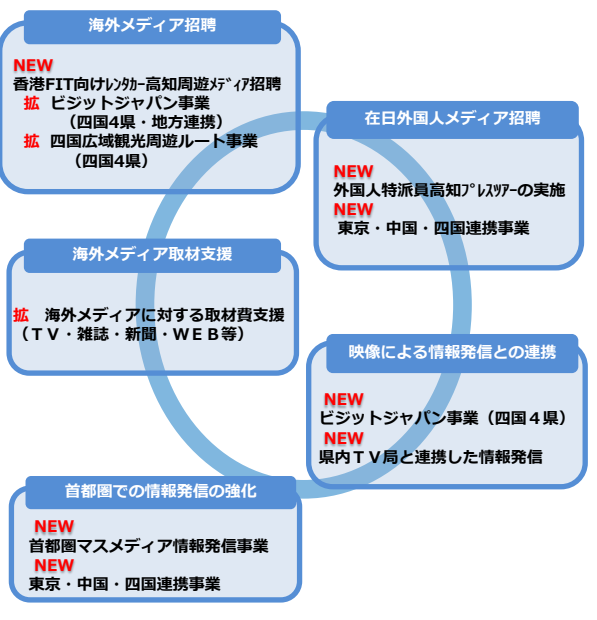
「鉄板」観光資源の構成要素

- ① 高知県ならではの地域に根差した「観光資源」であること
- ② 通年での利用が可能であること
(季節性のある資源であっても、年間を通じた利用を志向)
- ③ アクセス(1次交通・2次交通)が確保されていること
- ④ 外国人旅行者の受入れが可能なこと
(案内板・パンフレット・クレジットカード対応、Wi-Fi環境など)
- ⑤ リピーターが楽しめる工夫がみられること
(初回ならではの、2回目ならではの楽しみ方があること)

- 対象市場：台湾・香港・シンガポール (H28)
- 周遊ルート設定：3市場×3周遊ルート設定(東・中・西部各1ルート)
- 旅行商品販売：3市場各3旅行商品



2 国内外のマスメディアのさらなる活用



＜平成28年度＞ OMOTENASHI (おもてなし) の推進

もてなす 外国人観光客の受入基盤整備を2年間 (H27~H28) で強力に推進

1 市町村や民間事業者の取組を強力に支援

○ 国際観光受入環境整備事業費補助金による支援強化 **拡充**
市町村や民間団体等が実施する観光地、観光施設等における外国人観光客の受入基盤の整備が平成28年度までに完了するよう支援を充実・強化する。

- ★ 整備すべき事項
- ・ 観光案内板、観光パンフレットの多言語化
 - ・ 館内外サインの多言語化
 - ・ トイレの洋式改修
 - ・ Wi-Fi環境の整備 など

- ★ 拡充のポイント
- ・ 補助限度額の見直し
 - ・ 1施設が複数メニューに取り組む場合の補助率の高上げ
 - ・ 外国人観光案内所の開設等への支援 など



2 県の取組のさらなる強化

○ 津波避難誘導案内板等の設置 **NEW**
主要な観光地において多言語で津波避難場所等を表示した誘導案内板等を設置する。

○ 多言語通訳コールセンターの開設 **NEW**
「i」案内所や龍馬バスポート参画施設、市町村観光協会等が外国人観光客の接客時に利用することができる24時間対応の多言語通訳コールセンターを設置する。

○ モバイルWi-Fiルーターの貸し出し **NEW**
外国人観光案内所において、モバイルWi-Fiルーターの無料貸出を行う。

○ 多言語メニューの普及促進 **NEW**
県内各地の飲食店へ多言語メニューの普及促進を図る。